

R5. 5. 17 修正版			学校名	副田小学校	校長名	脇 輝美		
番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
1	(1)	校長の学校経営方針等が保護者や地域に伝わっている。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	1	3.0	A	3	3.3
			B	9		B	9	
C	1	C						
D		D						
・職員にはとてもよく伝わっている。 ・PTA総会時に保護者には説明を行い周知を図った。 ・会のときだけでなくつとめて校長と話し、学校経営方針に対する考えを理解するにはしている。	・具体的に説明され充実している。 ・学校だより等でよく伝わっていると思います。②							
2	(1)	望ましい子供の姿(知・徳・体)に向かって数値的目標を設定し改善に向けて努力している。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	1	3.1	A	4	3.3
			B	10		B	8	
C		C						
D		D						
・数値目標だけでは見えない部分が多いので、子供の姿について係や担任を中心として、連絡会で積極的に話題にして共通理解することが必要である。 ・毎月の家庭学習強化週間の取組や、発達段階に応じた読書冊数やチャレンジかごしまへの目標を設定して取り組んでいる。	・充実した取組がなされすばらしい。 ・先生方は努力されていますが、子供達ももう少し頑張ってほしい。 ・授業を楽しく受けているようです。							
3	(2)	子供たちは、「学校が楽しい」と感じ、生き生きと学校生活を送っている。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	5	3.5	A	5	3.4
			B	6		B	7	
C		C						
D		D						
・日々の授業や各種行事等の取組を更に充実させながら、楽しい学校生活になるように取り組む。	・環境もよく整備されすばらしい。 ・挨拶、行動が生き生きとしています。							
4	(2)	いじめや不登校など生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	6	3.5	A	6	3.5
			B	5		B	6	
C		C						
D		D						
・いじめアンケートや各種調査等から実態を把握し、必要に応じてSSWや外部機関と連携しながら対応している。気になることについては生徒指導連絡会で報告し、対応の仕方について共有を図っている。	・具体的に展開され充実している。							
5	(3)	子供たちの安全(登下校時、自然災害時)について細心の注意を払っている。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	7	3.5	A	8	3.7
			B	3		B	4	
C	1	C						
D		D						
・日常の安全指導や安全教室、各避難訓練等を通じて危険回避能力の育成に努めている。	・地域と一体になって取組んでほしい。 ・地域も登下校時の声かけや通学路の安全点検など日頃からやっていきたい。							
6	(4)	教職員は、子供と望ましい関係を築いており、保護者や地域との交流が図られている。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	2	3.1	A	2	3.2
			B	8		B	10	
C	1	C						
D		D						
・大きな行事を乗り越え経験したことで子供同士、子供と担任、担任同士の関係も深まった。 ・気になる児童の様子については積極的に保護者へ連絡をして、早期解決に努めている。	・充実した取組がなされている。 ・先生と子供達が一緒になって学習がなされている。							
7	(5)	学校は常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれている。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	3	3.2	A	9	3.8
			B	7		B	3	
C	1	C						
D		D						
・木が多く、特に落ち葉の管理が大変である。風が強い場合、枝が折れることが多々あるため対応が必要である。 ・今年度から縦割りでの活動を推進し、子供同士でつながり教え合う機会を多く設けている。	・清掃はよくできている。 ・よく整理整頓されています。							
8	(5)	学校の施設・設備は定期的に点検され、安全な状態が保たれている。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	6	3.5	A	7	3.6
			B	4		B	5	
C	1	C						
D		D						
・毎月安全点検を行い、修繕が必要な箇所については早急な対応に努めている。 ・階段の踊り場等がすべりやすかったり、テラスの木の腐食が危険になっていたりしている。	・よく点検されすばらしい。 ・よく管理されていると思います。							
9	(7)	子供たちの学力や体力の実態が保護者や地域によく知らされている。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A		2.8	A	2	3.1
			B	9		B	9	
C	2	C	1					
D		D						
・学校だよりや各学級での週報、各種会合等機会をとらえ周知を図っている。落ち込みが見られるものについては、学級PTAなど保護者と会する場で積極的に話題に出し、関心をもっていただくように努めた。	・具体的によく説明されている。 ・学校だより等でよく知らされている。							
10	(7)	保護者や地域は学校の教育活動に対して協力・支援を行っている。	学校教職員による自己評価			学校関係者評価委員による評価(集約)		
			対策・改善点			主な意見		
			段階	人数	平均	段階	人数	平均
			A	1	2.9	A	2	3.2
			B	8		B	10	
C	2	C						
D		D						
・保護者には、全体的に大変協力的に教育活動に携わっていただいている。家庭状況によって協力を得るのが難しいケースもある。 ・学校応援団を積極的に活用し、地域の方々といつもの授業とは異なる雰囲気でも充実した授業を行うことができている。	・運動会等から考えると地域と一体になっていてすばらしい。							

学 校 名
副田小学校

番号	事項	評価項目	学校教職員による自己評価(集約)			学校関係者評価委員による評価(集約)	主な意見			
			評価(数値平均)	対策・改善点						
11	(6)	小中一貫教育は、小中間の交流活動等が効果的に行われ、成果が現れている。	段階	人数	平均	・よりよい活動にするために、中学校区間で議論し、子供たちにも教員にもよいものにできたと思う。 ・教師間交流授業や児童生徒の交流学習を今後も無理のない範囲で推進していきたい。	・今後も継続的に連携し充実してほしい。			
			A	1	2.6			段階	人数	平均
			B	7				A	1	2.9
			C	1				B	9	
			D	2				C	2	
12	(6)	薩摩川内元気塾は、子供たちに夢や元気を与えている。	段階	人数	平均	・りんごの木の方々による読み聞かせでは、本を通して想像することの素晴らしさを実感することができた。また、消しゴムはんこ作りでは、作業に没頭し、思い出に残る作品に仕上げることができた。	・工夫されている。			
			A	7	3.4			段階	人数	平均
			B	1				A	6	3.4
			C	3				B	5	
			D					C	1	
13	(6)	英語の授業では、子供も教師も笑顔でコミュニケーション活動を行い、英語力が身に付いている。	段階	人数	平均	・ALTやESTの先生方が親切丁寧に指導してくださるので、英語の授業に対する抵抗感がなく、毎回楽しんで活動をしている。	・今後も頑張してほしい。 ・これから、子供たちが人生の幅世界を広げていく為に英語力は身に付けてほしい。			
			A	2	3.1			段階	人数	平均
			B	8				A	2	3.1
			C	1				B	9	
			D					C	1	
14	(2)	子供たちは、学校や地域で進んであいさつをしている。	段階	人数	平均	・進んであいさつができる児童とそうでない児童がいる。本校の一事徹底項目の一つでもあるので、指導を継続して明るいあいさつであふれる学校を目指したい。	・子供達だけ求めるのではなく、大人も子供達が挨拶しやすい人間力を身に付けていきたい。 ・明るく元気に挨拶できています。			
			A	1	2.6			段階	人数	平均
			B	6				A	3	3
			C	3				B	8	
			D	1				C	1	
15	(8)		段階	人数	平均					
			A		#DIV/0!			段階	人数	平均
			B					A		#DIV/0!
			C					B		
			D					C		
16	(8)		段階	人数	平均					
			A		#DIV/0!			段階	人数	平均
			B					A		#DIV/0!
			C					B		
			D					C		

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校教職員の評価を平均(小数第1位まで)

↑A=4点、B=3点、C=2点、D=1点として、学校関係者評価委員の評価を平均(小数第1位まで)

<学校関係者評価結果及び委員の意見等をふまえた次年度の改善点と対応策>

<p>子供が「学校が楽しい!」「みんなで何かをするのは楽しい!」と実感できる学校(学級)の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内・校外行事や諸活動の適切な計画・実施と振り返り・改善, 広報活動の充実 ・ 人間関係形成力やコミュニケーション能力の育成を意識した子供に寄り添う指導・支援の継続 ・ 縦割りグループ(異年齢集団)での活動促進(掃除活動, 集会活動等) ・ いじめや不登校の未然防止及び早期対応と解決, 相談活動の充実, 外部関係機関との連携強化 <p>子供が「分かった!」「できた!」が実感できる授業の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業設計(教材研究の時間の確保, 職員研修の充実) ・ 小中一貫教育によるミドルゴール・ファイナルゴールを意識した共通実践と研究の継続 ・ 適切な「振り返り」の実施と諸データの活用 <p>教育環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の定着(あいさつ 言葉遣い はきものをそろえる 早寝・早起き・朝ごはん) ・ 地域人材・資源を生かした学校応援団や薩摩川内元気塾等の魅力ある活動の更なる推進 ・ 保護者, 地域と連携・協力した登下校の安全指導と安全確保 ・ ICTの活用促進と季節の花や緑に囲まれた美しく落ち着いた校内環境の整備
--